生成AIで進化する特許SDI調査：劇的な効率化と目的別3層運用

生成AI導入による圧倒的な調査効率化



1件あたりの確認時間：5分
対象件数：100件（精読）

約90%削減

導入後：30秒
対象件数：20件（精読）

月間の調査作業時間：10時間



半減：5時間

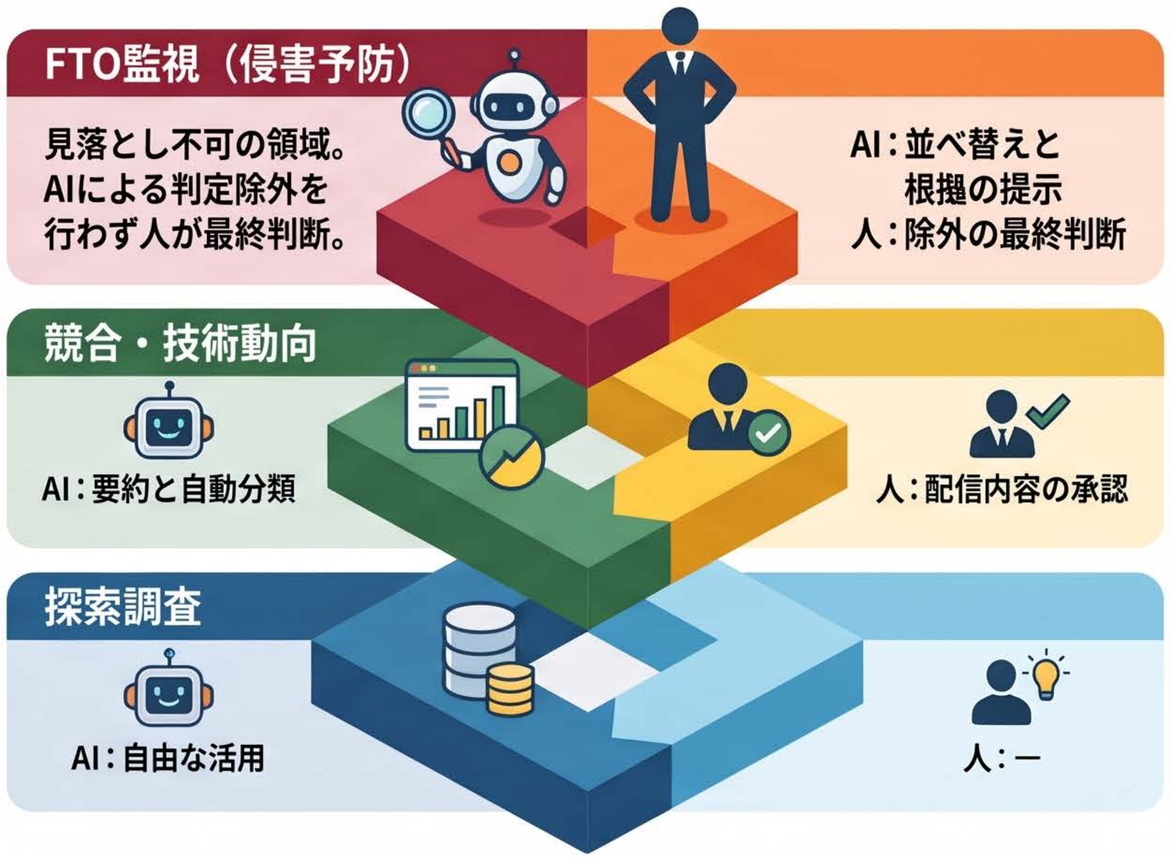
年間1,800時間の削減効果を実証
（パナソニック等事例）



AIによる判定・理由付けへ

要約・分類・関連度評価まで自動処理

安全運用を実現する「目的別SDI 3層モデル」





「ゴールドセット」と抜き取り検査による精度監査

過去の重要公報データを用いてAIの判定漏れ（偽陰性率）を定期的に測定。

Gemini Notebook